

発行：安全な生活を願う市民の集い (Tel/Fax : 042-725-2545)

## 《脱原発二年》 これからの私達の課題

去る3月11日。日本中で多くの祈りが捧げられました。津波被災地では、膨大ながれきの山の脇で手を合わせ。福島  
の警戒区域では白い防護服に身を包んで花束を供え。福島県  
郡山市での県民大集会には全国から約1万6千人の参加者  
達。東京では、国会議事堂を囲む「人間の鎖」に約2万人。  
地震が起きた時刻には全ての電車が止まり、乗客はその場で  
黙祷。家庭でも静かに祈る人々。国内だけでなく、諸外国で  
も「福島を忘れるな！」「原発はだめだ！」と呼び掛け、集  
会やデモをしたとの報道がありました。  
こうして私達は驚愕の1年に区切りをつけ、「脱原発2年目」  
とも呼ぶべき時間へと、新たな一歩を踏み出しました。  
その11日の夜、野田首相は記者会見で、「今後、被災がれ  
きの広域処理について、国が一步も二歩も前に出ないといけ  
ない。災害廃棄物処理特別措置法に基づき、自治体に正式に  
文書で要請する。国が放射能測定に乗り出し、情報を的確に  
公開する。がれき受け入れ自治体には、国が財政援助をする」  
と明言しました。この時点まで、受け入れ自治体は東京、山  
形、青森の3都県だけ。がれき処理は全体の6・7%しか進  
んでおらず、復興への大きな障壁になっていたのです。  
早速3月15日、静岡県島田市が受け入れを正式発表。その  
後16日には、群馬県、千葉市、茨城県、広島県庄原市、島  
根県、舞鶴市、敦賀市、沖縄県、北九州市、輪島市等が次々  
に受け入れの意向を表明しました。  
しかし、こんなに急に受け入れを決めて良いのでしょうか。  
住民は了解しているのでしょうか。放射能は本当に大丈夫な  
のでしょうか。今や国の言う《安全》ほど不安なものはない  
かもしれません。名乗り出た自治体は財政難を抱えています。国の「財  
政援助」の中身を情報開示すべきです。ネット上では「1ト  
ンに付き7万円」などという途方もない噂が飛び交っていま  
す。これでは原発交付金の二の舞になってしまいます。がれ  
きも再稼働問題も、私達はよく考えるべきだと思います。



### 「さようなら原発・

### 1000万署名・集約集会」

3月24日(土)：東京・日比谷野外音楽堂にて  
13：30・集会・デモ／スピーチ：大江健三郎さん他

### 『反原発』ツイッター・デモ(第9回)

『@渋谷・原宿』／3月25日(日)

集合 13：00・渋谷「みやしたこうえん」北側  
出発 14：00<<http://twitnonukes.blogspot.com>>

### 「もう原発は動かさない！ 女たちの力でネットワーク 4・7集会」

4月7日(土)：日本教育会館(地下鉄神保町駅A1出口から徒歩約3分) 13：15会場／13：30開会  
お話「いのちの感受性&論理性」(落合恵子さん)／パネルディスカッション「女たちの力でネッ  
トワーク」(鎌仲ひとみ・武藤類子他5氏)／参加費：1000円／主催：脱原発をめざす女たちの会  
(連絡先Tel:03-6550-1111)／申し込み先：<http://datsugenfem.web.fc2.com/index.html>

### (第2回)福島支援集会「ふんばれ！ 福島 支えよう！ フクシマ」

日時：4月15日(日) 1：30～4：30／場所：町田市・玉川学園文化センター(ホール)  
＝小田急線・玉川学園前駅下車・北口徒歩2分＝

- I. 和合亮一「詩の礫」・朗読：早野ゆかりさん(俳優座所属)他
- II. 講演『福島に診療所を！』— 自然治癒力を最大限生かした医療拠点を！—  
講師：佐藤幸子さん(福島診療所建設委員会・「子どもたちを放射能から守る福島  
ネットワーク」代表)

主催：原発を考える会・玉川学園 / 参加費：500円 / 連絡先：070-6479-3655 (八木)

### ★被災したペットのための義援金お願い ★動物達のお世話ボランティアも募集中です！

被災ペット・一時保護施設の運営に、ぜひご協力下さい。振込先：東邦銀行・県庁支店・普通預金・(口  
座番号) 1418368 (口座名) 福島県動物救護本部義援金口 《お問い合わせ先＝福島県動物救護本部》

【後記】私達は、放射能の心配がない安全安心な生活環境を取り戻したいと願う者のグループです。  
毎月1・11・21日にこのニュースをお届けします。Faxにて集会情報のご投稿をお願いします。